



LG

Life's Good

取扱説明書

LED モニター

このたびは LG モニター製品をお買い求め頂きまして、
誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

24GM77

目次

3 ライセンス

4 組み立てと準備

- 4 同梱品
- 5 製品とボタンの説明
- 6 - OSDジョイスティックの使用方法
- 7 持ち運びのご注意
- 8 モニターの設置
- 8 - スタンドベースの取り付け
- 9 - スタンドベースの取り外し
- 9 - テーブルへの設置
- 10 - スタンドの高さの調整
- 11 - 見やすい角度に調整する
- 11 - ケーブルの整理
- 12 - ピボット機能
- 13 - ケンジントン(Kensington)ロック
- 13 - スタンドネックの取り外し
- 14 - 壁掛け金具を取り付ける
- 14 - 壁に取り付ける

16 接続する

- 16 PCを接続する
- 16 - HDMI接続
- 17 - DisplayPort接続
- 17 - D-Sub接続
- 18 - DVI接続
- 18 AV機器に接続する
- 18 - HDMI接続
- 19 外部機器に接続する
- 19 - USBケーブル接続 - PC
- 20 - ヘッドホンを接続する

21 ユーザー設定

- 21 メインメニューの表示
- 21 - メインメニューの機能
- 22ゲーミングホットキー
- 24 ユーザー設定
- 24 - メニュー設定
- 25 - かんたん設定
- 26 - 機能
- 28 - 画質
- 29 - カラー
- 30 - 表示
- 31 - 設定
- 32 - 自動設定
- 33 - リセット

34 困ったとき

36 仕様

- 37 お買い上げ時の初期モード(プリセットモード DisplayPort/D-SUB/DVI-D/HDMI PC)
- 37 HDMI タイミング
- 37 電源LED

38 正しくご使用いただくために

- 38 モニターを使用するときの正しい姿勢

ライセンス

該当するライセンスはモデルによって異なります。ライセンスの詳細については、www.lg.com を参照してください。



HDMI と HDMI High-Definition Multimedia Interface 用語および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

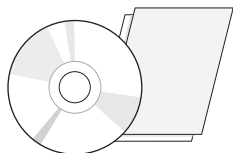


VESA、VESA ロゴ、Display Port Compliance ロゴ、Display Port Compliance ロゴ（デュアルモード ソース用）はすべて、Video Electronics Standards Association の登録商標です。

組み立てと準備

同梱品

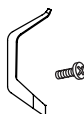
箱の中身を確認してください。付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。



CD (ユーザーマニュアル)
/ カード



電源コード



ケーブルホルダー /
ネジ



スタンドベース



DisplayPort ケーブル
(国ごとに異なります)



USB3.0 ケーブル (A-B タイプ)



注意

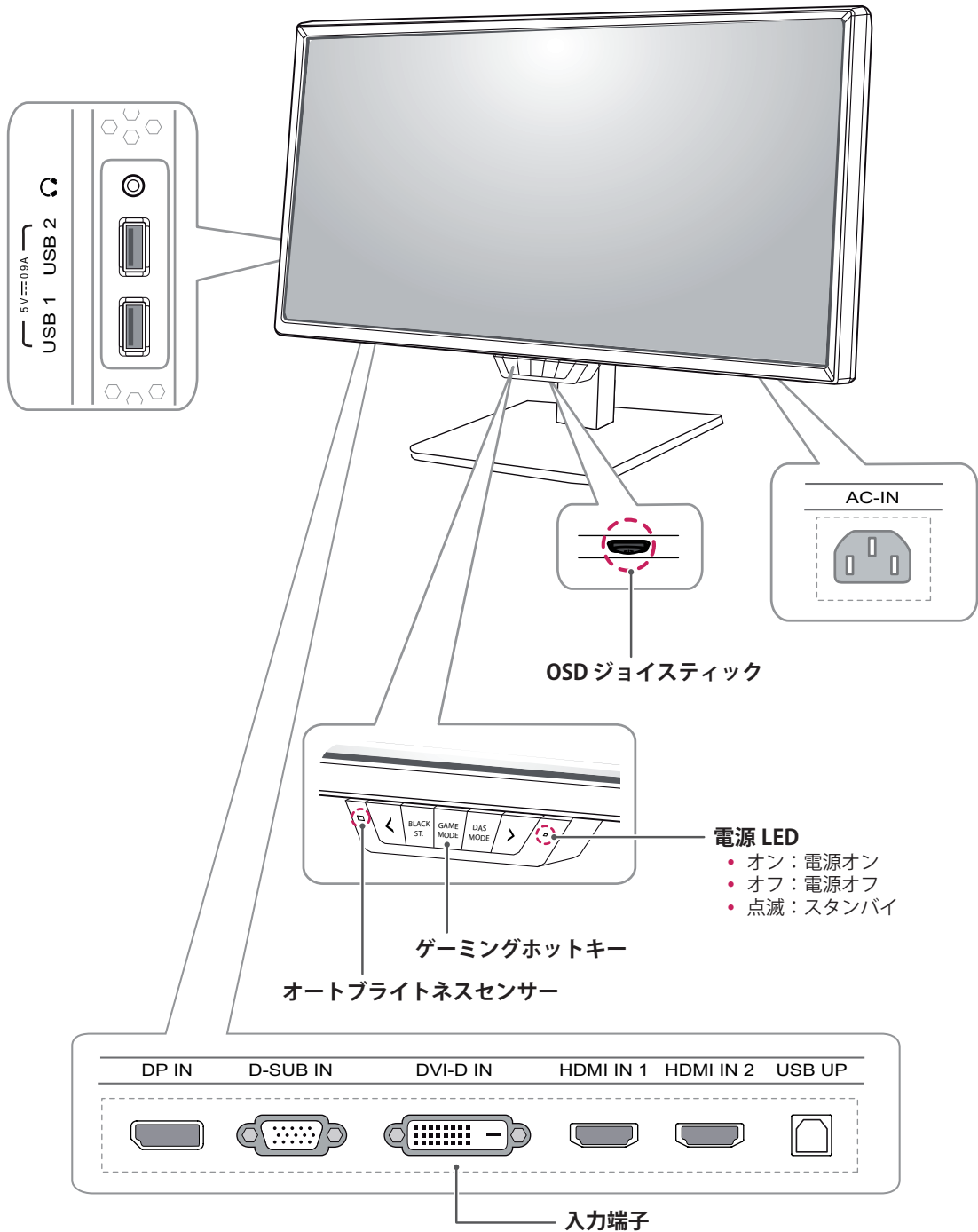
- 製品を安全に長くお使いいただくため、正規の付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 非正規の付属品の使用による破損や怪我は、保証の対象外になります。



ヒント

- 本マニュアルに記載されているイラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の通知なしに変更されることがあります。

製品とボタンの説明



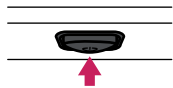

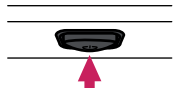


ヒント

- 明るさセンサーは、明るさの自動調整機能で使用されるもので、外部の光量を検知します。
- OSD ジョイスティックはモニターの底面に付いています。

OSD ジョイスティックの使用法

OSD ジョイスティックを指で押したり、左右に動かしたりすることで各種機能を簡単に操作できます。

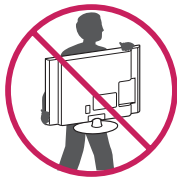
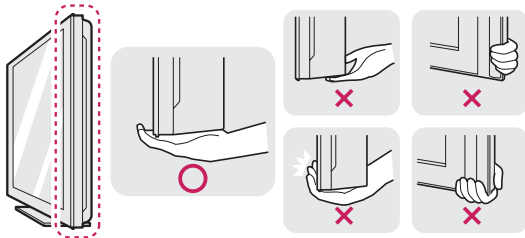
基本機能

		電源オン	OSD ジョイスティックを指で押すと、モニター電源がオンになります。
		電源オフ	OSD ジョイスティックを指で押し続けると、モニター電源がオフになります。
		ボリュームコントロール	OSD ジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

持ち運びのご注意

モニターを動かしたり持ち上げたりする際、以下に注意して、モニターに傷などが付かないよう、安全に運んでください。

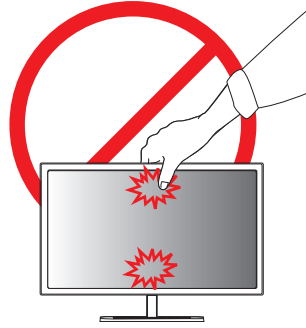
- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材を使用してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを動かしたり持ち上げたりする前に、電源コードとケーブルをすべて外してください。
- モニターのフレームの上下をしっかり持ってください。パネルを直接つかまないでください。



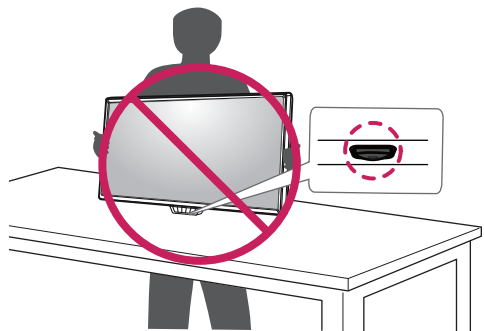
- モニターを持つ場合、製品の背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。
- モニターを運ぶときは、垂直になるように持ってください。水平にしたり、左右に傾けた状態で移動させないようにしてください。また、衝撃や過度な振動を与えないようにしてください。

! 注意

- 画面には触れないようにしてください。画面に傷が付いたり、液晶が損傷するおそれがあります。圧力をかけないでください。



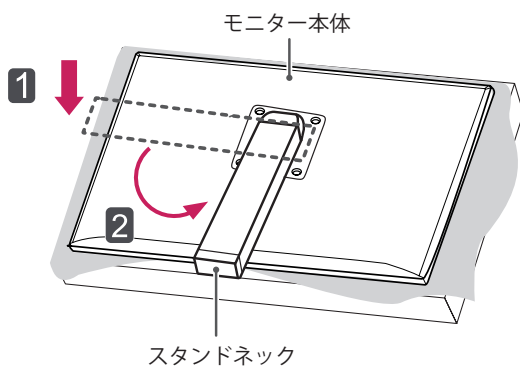
- モニターの底面には OSD ジョイスティックがあるため、スタンドベースを使用しないとモニターがぐらついて倒れるおそれがあり、モニターの損傷または怪我の原因となります。また、OSD ジョイスティックの故障につながるおそれがあります。



モニターの設定

スタンドベースの取り付け

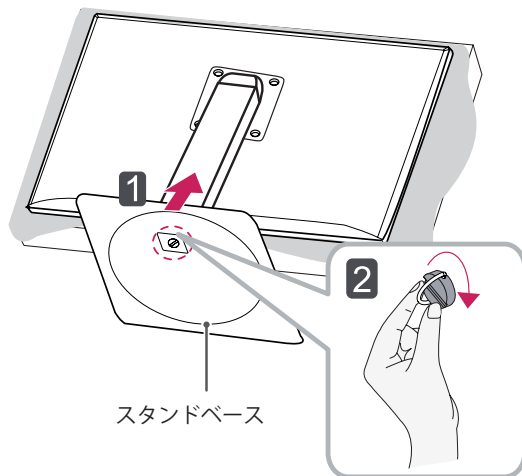
- 1 画面を下向きにして置きます。
- 2 スタンドネックを反時計回りに90°回転させます。



⚠ 注意

- 画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いておきます。
- モニター本体に傷が付かないように、スタンドネックを回転させる際は、モニター本体に接触しないよう注意してください。

- 3 スタンドベースの穴とスタンドネックの位置を合わせて、スタンドベースを奥まで押し込みます。スタンドベースのネジを右に回して固定します。



⚠ 注意

- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。このような原因で損傷した場合、本製品の保証の対象外になるのでご注意ください。

スタンドベースの取り外し

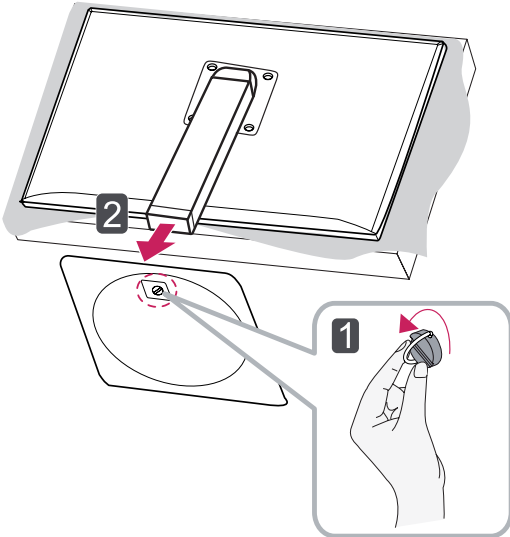
- 1 画面を下向きにして置きます。



注意

- 画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いておきます。

- 2 スタンドベースのネジを左に回して、スタンドネックからスタンドベースを取り外します。

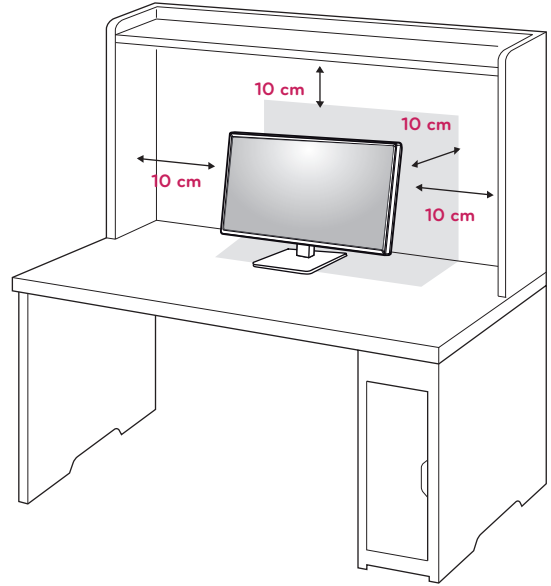


注意

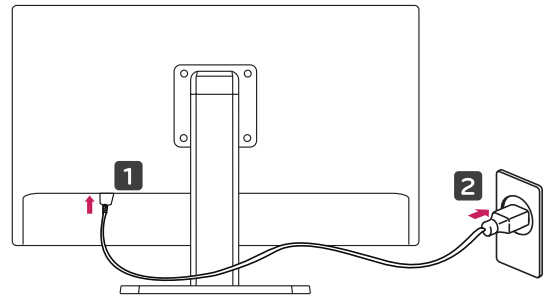
- モニターは上下逆さにした状態で持ち運ばないでください。モニターがスタンドから落ちて、製品の破損やけがの原因となるおそれがあります。
- モニターを持ち上げたり動かしたりする場合は、画面の破損を避けるため、スタンドまたはプラスチックカバーの部分のみをつかんでください。

テーブルへの設置

- 1 モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルに置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲 10 cm 以上の空間を空けて設置してください。



- 2 電源コードをコンセントに接続します。



- 3 モニターの下部にある OSD ジョイスティックを押して、電源をオンにします。

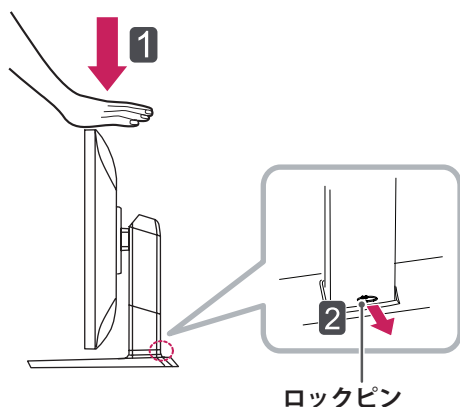


注意

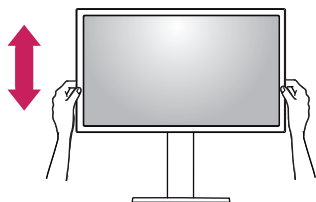
- 先に電源コードを抜いてからモニターを移動または設置してください。感電や、ケーブルの損傷につながるおそれがあります。

スタンドの高さの調整

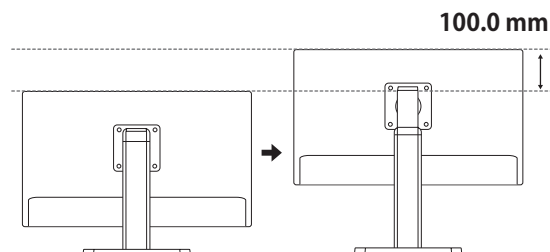
- 1 スタンドに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
- 2 モニター本体を下側に押しつけてロックピンを引き抜きます。



- 3 モニターを両手でしっかりつかんで高さを調整します。



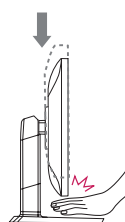
- 4 最大で 100.0 mm の高さに調整できます。



! 注意

- 高さを調整セットしたあとに、再度ロックピンを再挿入する必要はありません。ただし、梱包箱などに入れて輸送するときなどは、スタンドを固定する必要があります。ロックピンは紛失しないようにしてください。
- 保護ガラスを取り付けることによって、本製品の高さや角度調整に関する問題が発生した場合は保証の対象外になります。

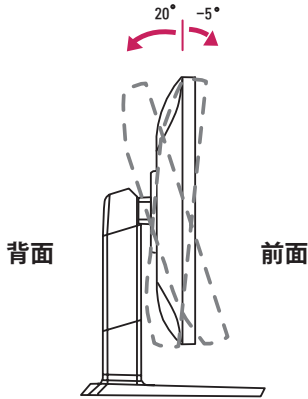
! 注意



- 画面の高さを調整するとき、手や指を挟むなどのケガをしないよう、高さ調節の際はスタンドベースの上に手を置かないでください。

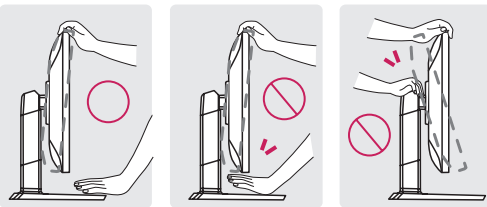
見やすい角度に調整する

- 1 スタンドに取り付けたモニター本体を直立させた状態にします。
- 2 画面の角度を調節してください。見やすい角度に画面の角度を前後に調整します。

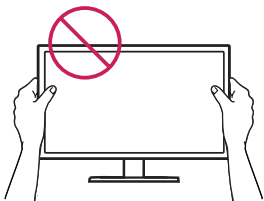


⚠ 注意

- モニターの角度を調節するときは、スタンドベースとモニター本体の間に指や手を置かないでください。はさんでケガをする恐れがあります。



- 画面の角度を調整するときは、フレームを持って調整し、画面のパネルには触れないようにしてください。

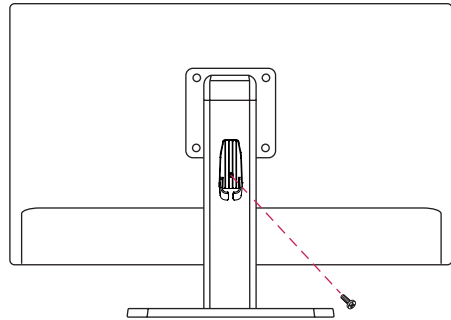


⚠ 注意

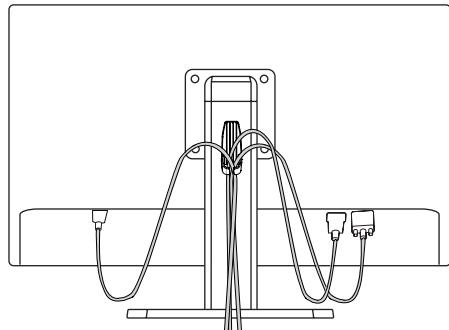
- 保護ガラスを取り付けることによって、本製品の高さや角度調整に関する問題が発生した場合は保証の対象外になります。

ケーブルの整理

- 1 イラストのように、付属のネジを使用してスタンドネックにケーブルホルダーを取り付けます。

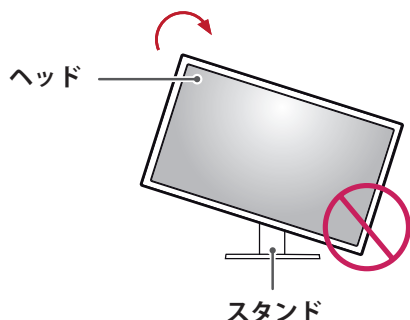


- 2 付属のケーブルホルダーで各ケーブルをまとめます。



ピボット機能

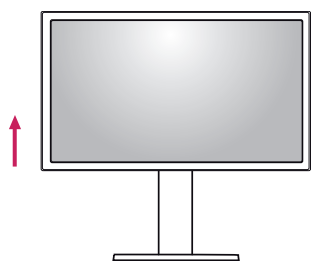
ピボット機能とは、モニターを時計回りに 90 度回転させて、画面を縦に表示することができる機能です。



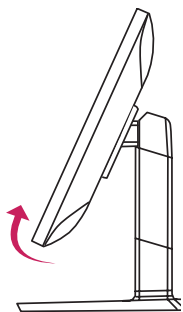
注意

- 下記の手順に従って、モニターやスタンドが傷がつかないように、モニターとモニタースタンドが接触しないようにして回転させてください。

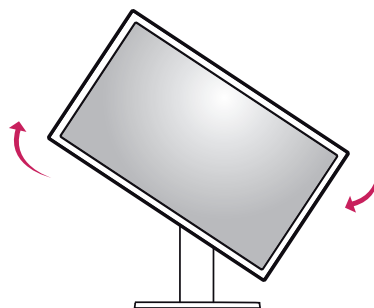
- 1 モニター本体を一番上の高さまで上げます。



- 2 イラストのように角度調節でもっとも画面が上を向くようにします。



- 3 モニター本体を時計回りに回転させます。



- 4 モニターを 90 度回転させて、角度、高さを調整します。

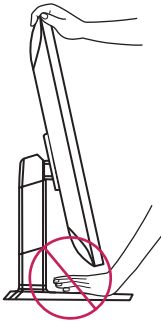


ヒント

- オートピボット機能はサポートされていません。
- Windows オペレーティングシステムには、表示内容を回転するためのショートカットキーが割り当てられています。この機能を使用すれば、表示内容を簡単に回転できます。ただし、Windows のバージョンによっては、これらのショートカットキーの割り当てが異なる場合や、サポートされていない場合があります。
- サポート対象の Windows バージョン：Windows 7、Windows 8
- Windows では、以下のショートカットキーで表示内容を回転できます。
 - 0° : Ctrl + Alt + 上向き矢印 (↑)
 - 90° : Ctrl + Alt + 左向き矢印 (←)
 - 180° : Ctrl + Alt + 下向き矢印 (↓)
 - 270° : Ctrl + Alt + 右向き矢印 (→)

! 注意

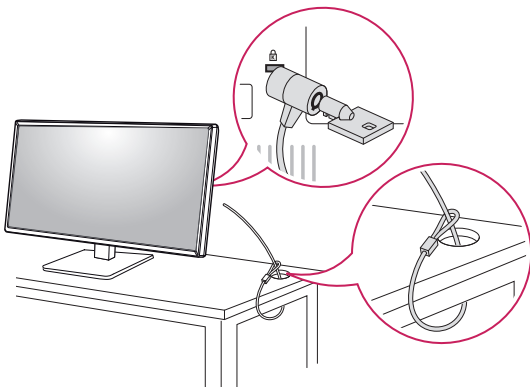
- ケーブルを接続したままモニターを回転させる場合は、ケーブルが抜けたり、巻き込まないように注意してください。
- モニターを回転する場合は手や指を挟むなどのケガをしないよう、高さ調節の際はスタンドベースの上に手を置かないでください。

**ケンジントン (Kensington) ロック**

ケンジントンロックの使用により盗難防止に効果があります。

Kensington ロック用のスロットは、モニターの背面にあります。取り付けと使い方の詳細については、Kensington セキュリティ システム付属の取扱説明書を参照するか、<http://www.kensington.com> をご覧ください。

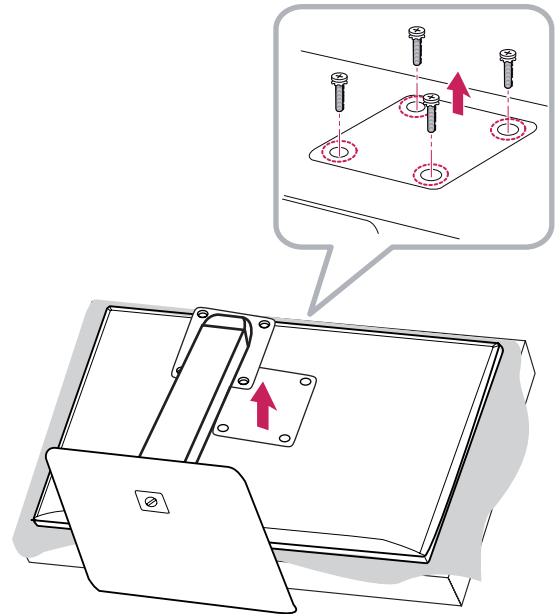
Kensington ロックのケーブルでモニターをテーブルに固定します。

**✓** ヒント

- Kensington ロックのお求めは最寄りの PC ショップや家電量販店にお問い合わせください。

スタンドネックの取り外し

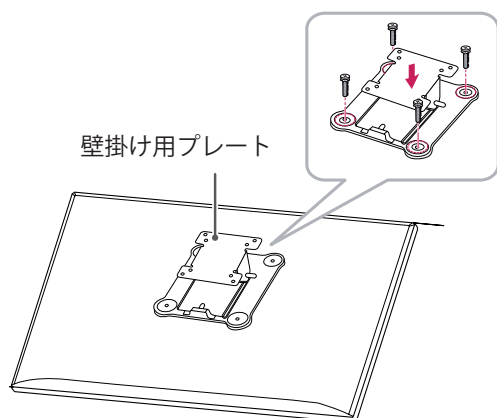
- 1 モニターの画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、表面を柔らかい布で覆います。
- 2 ドライバーで4か所のネジを外し、モニターからスタンドを取り外します。



壁掛け金具を取り付ける

本機は、VESA 規格に準拠しています。

- 1 画面を下向きにして置きます。画面に傷が付かないように、下に柔らかい布を敷いてください。
- 2 モニター背面に壁掛け用金具を置き、モニターのネジ穴に合わせます。
- 3 ドライバーで4箇所ネジ止めて、モニターと金具を固定します。



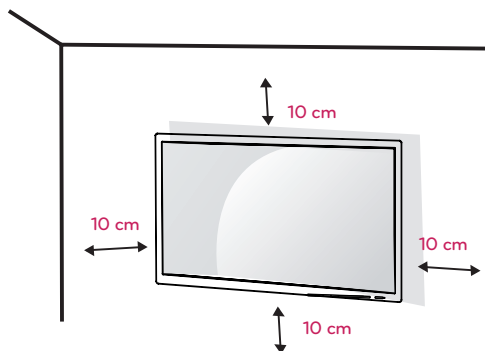
✔ ヒント

- 壁掛け金具は別売りです。
- 壁掛け金具を取り付ける際、ネジの締めすぎなど、過剰な力を加えるとモニターが破損する可能性があります。

壁に取り付ける

使用時の発熱による本体の高温化を避けるため、上下左右および壁より 10cm 以上の空間を確保できる場所に設置してください。

詳細な設置方法については、別売の壁掛け金具に付属する取扱説明書をご参照ください。

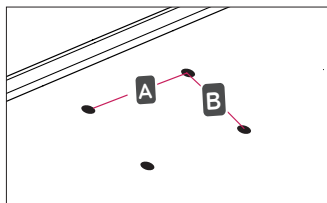


壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（別売）を取り付けます。壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定してください。

- 1 壁掛け金具に付属しているネジよりも長いものを使用すると、モニターの内部が破損するおそれがあります。
- 2 VESA 規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。当社は、規格外のネジの使用に関する事故や破損については、保証の対象外となります。

モデル	24GM77
ネジ穴の間隔 (A x B)	100 x 100
スタンドのネジ	M4 x 10 mm
必要なネジの数	4

- ネジ穴の間隔 (A x B)

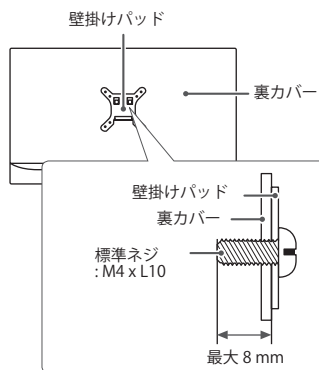


✔ ヒント

- VESA 規格に準拠する壁掛け金具とネジを使用してください。
- 取り付けに関する詳細には、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具は別売りです。
- ネジの長さは、壁掛け金具によって異なります。適切な長さのネジを使用してください。

⚠ 注意

- 感電のおそれがありますので、モニターを移動または設置する場合は、先に電源コードを抜きます。
- モニターを天井または傾きのある壁面に取り付けると、製品が落下し重大なけがを負う可能性があります。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。締めすぎによる破損は、保証の対象外となるのでご注意ください。
- VESA 規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットを使用してください。誤った使用方法や、VESA 規格に準拠しない金具の使用による破損やケガについては弊社は一切の責任を負いません。
- 外表面から裏カバーまでネジの長さは 8 mm 以下にしてください。



接続する

⚠ 注意

- 画面を指で長時間押し続けしないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。スクリーンセーバーのご使用をおすすめします。

✔ ヒント

- 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
- 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは製品不良ではありません。

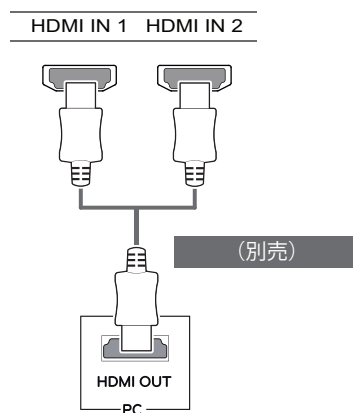
PC を接続する

本機は、プラグアンドプレイに対応しています。

* プラグアンドプレイ：PC に機器を接続して電源を入れると、設定や操作をしなくても、PC で認識して OS の標準ドライバがインストールされます。

HDMI 接続

PC および AV 機器からモニターの映像がデジタル映像信号および音声信号を伝送します。イラストのように、HDMI ケーブルでモニターの端子に接続します。



⚠ 注意

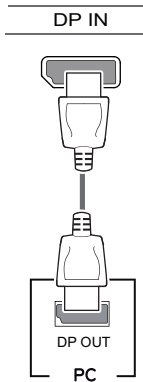
- PC を HDMI で接続したときは、画面の解像度や画面サイズが正常に表示されないことがあります。
- DVI-HDMI や DisplayPort-HDMI 変換ケーブルや変換コネクタを使用すると、互換性の問題が発生することがあります。

✔ ヒント

- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。"保証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。"
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。：ハイスピード HDMI™ ケーブル、ハイスピード HDMI™ ケーブル（イーサネット対応）

DisplayPort 接続

PC からモニターにデジタル映像信号および音声信号を送送します。イラストのように、DisplayPort ケーブルでモニターと PC を接続します。

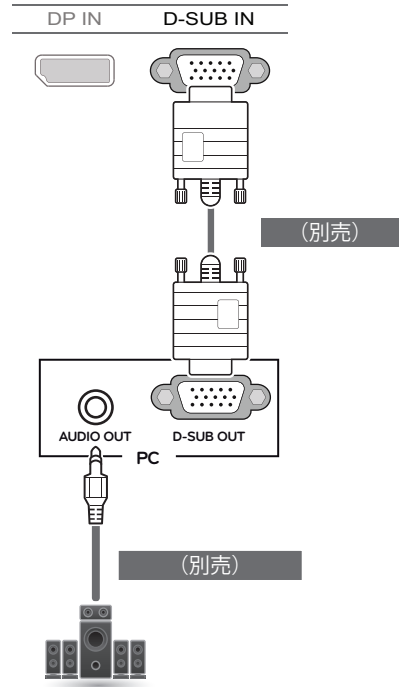


✔ ヒント

- PC の DisplayPort のバージョンによっては、ビデオ出力または音声出力に対応していないことがあります。
- Mini DisplayPort - DisplayPort ケーブルを使用する場合は、DisplayPort 1.1a 以上の規格に適合したケーブルを推奨します。

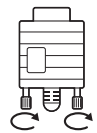
D-Sub 接続

PC からモニターにアナログ映像信号を送送します。D-Sub15 ピン信号ケーブル(別売)を使用して、イラストのようにモニターと PC を接続します。



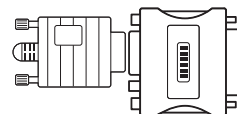
⚠ 注意

- 信号入力ケーブルを接続し、時計回りに回してケーブルをしっかり固定します。その際、強く締めすぎないようにしてください。



✔ ヒント

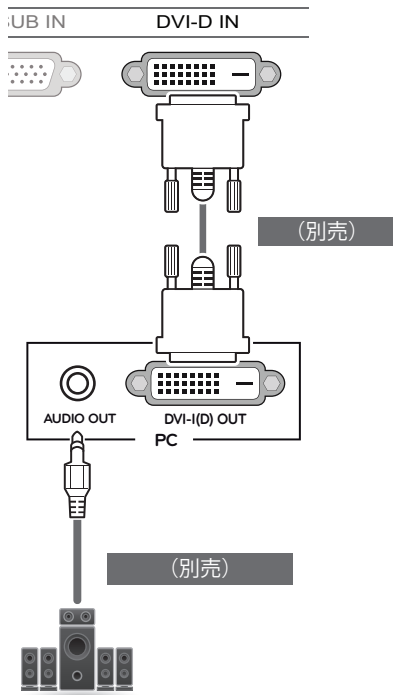
- Macintosh 用の D-sub 信号入力ケーブルを使用する場合



- Apple Macintosh で使用する場合、D-Sub15 ピン (3 列) ケーブルを 15 ピン 2 列のコネクタに変換するアダプターが必要になります。
* 変換コネクタ、D-Sub15 ピンケーブルは別売です。

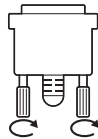
DVI 接続

PC からモニターにデジタル映像信号を伝送します。イラストに従って、PC とモニターを DVI ケーブルで接続します。



注意

- 信号入力ケーブルを接続し、時計回りに回してケーブルをしっかり固定します。その際、強く締めすぎないようにしてください。



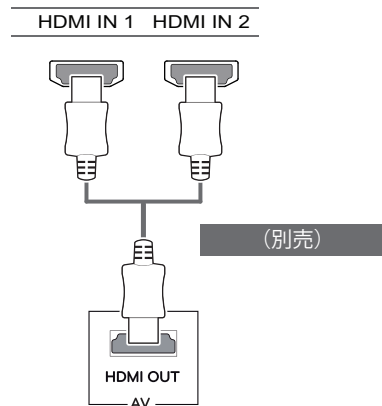
ヒント

- DVI-HDMI ケーブルを使用した場合、互換性の問題が発生することがあります。
- DVI 信号ケーブルを接続する場合は、DVI-D デュアルリンクケーブルを使用してください。
- DVI-HDMI ケーブルを使用した場合、音声は出ません。

AV 機器に接続する

HDMI接続

HDMIは、映像と音声のデジタル信号をAV機器からモニターへ送信するためのインターフェイスです。イラストのように、HDMIケーブルを使用してモニターとAV機器を接続します。



ヒント

- DVI-HDMI ケーブルまたは DP (DisplayPort) -HDMI ケーブルは、互換性の問題を引き起こすおそれがあります。

ヒント

- HDMI ロゴの付いた規格が保証された HDMI ケーブルをご使用ください。"保証されていない HDMI ケーブルやハイスピードでない標準 HDMI ケーブルを使用すると正常に動作しないことがあります。"
- 次の HDMI ケーブルのご使用を推奨します。:** ハイスピード HDMI™ ケーブル、ハイスピード HDMI™ ケーブル (イーサネット対応)

外部機器に接続する

USBケーブル接続 - PC

USBポートは、USBハブとして使用できます。



ヒント

- 製品を使用する前に、最新の Windows OS サービスパックがインストールされていることを確認してください。
- 周辺機器は別売りです。
- キーボード、マウス、USB デバイスを USB ポートに接続できます。



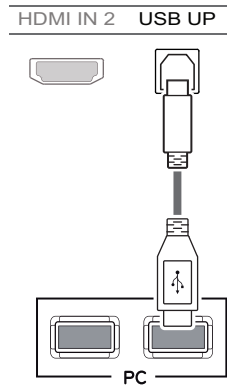
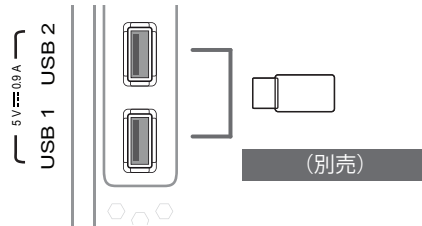
注意

USB デバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされている USB デバイスや独自のドライバーを使用する USB デバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部の USB デバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のある USB ハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。
(供給電力が十分でない場合、USB デバイスが正しく認識されないことがあります)。

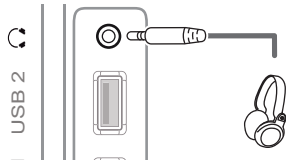
USB 3.0 を使用する場合は、A - B タイプ USB 3.0 ケーブルを PC に接続します。

USB 1、2 ポートに接続された周辺機器を PC から操作できます。



ヘッドホンを接続する

ヘッドフォンポートを使用して、周辺機器をモニターに接続します。イラストのように接続します。



(別売)

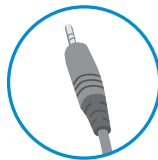


ヒント

- 周辺機器は別売りです。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型になっているコネクタの場合、モニターに当たって、差し込めなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L型タイプ



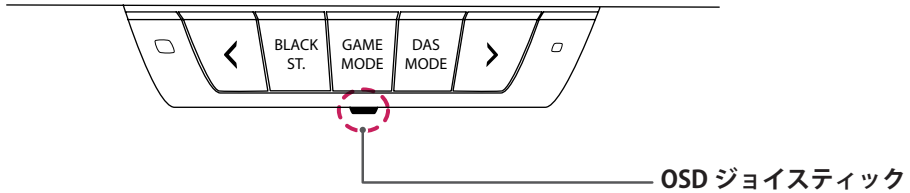
ストレートタイプ

- PCおよび外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が正常に動作しないことがあります。

ユーザー設定

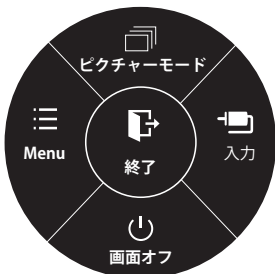
メインメニューの表示

- 1 モニターの底面にある **OSD ジョイスティック** を押します。
- 2 ジョイスティックを前後 (▲/▼)、左右 (◀/▶) に動かして各種の設定します。
- 3 OSD ジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



ボタン	メニューの状態	説明
	メインメニュー非表示時	メインメニューを表示します。
	メインメニュー表示時	メインメニューが終了します (ボタンを押し続けると、モニターの電源がオフになります。この方法では、OSD がオンのときも含め、いつでもモニターをオフにできます)。
	◀ メインメニュー非表示時	モニターの音量を調節します。
	◀ メインメニュー表示時	モニターの各種設定メニュー (OSD メニュー) を表示します。
	▶ メインメニュー非表示時	モニターの音量を調節します。
	▶ メインメニュー表示時	入力端子の選択を表示します。
	▲ メインメニュー非表示時	メインメニューを表示します。
	▲ メインメニュー表示時	ピクチャーモードの設定を表示します。
	▼ メインメニュー非表示時	メインメニューを表示します。
	▼ メインメニュー表示時	モニターをオフにします。

メインメニューの機能

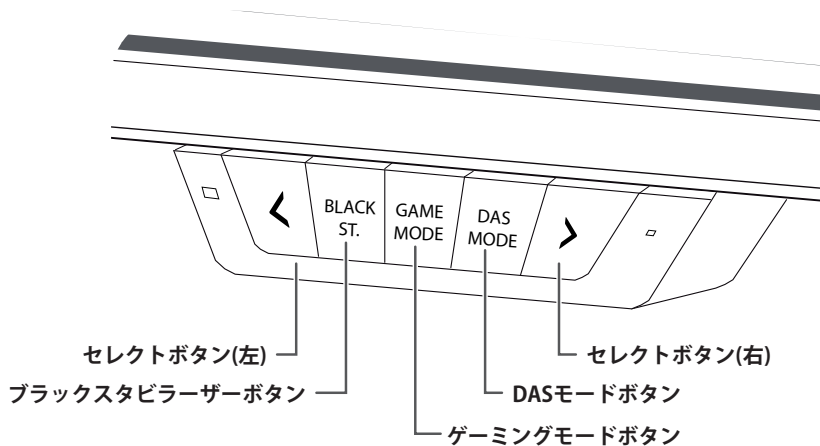


メインメニュー	説明
Menu	モニターの各種設定メニュー (OSD メニュー) を表示します。
ピクチャーモード	ピクチャーモードの設定を表示します。
入力	入力端子の選択を表示します。
画面オフ	モニターがオフになります。
終了	メインメニューが終了します



● 長押し：画面オフ

ゲーミングホットキー

モニター前面にあるホットキーで、各ゲームモードを手早く設定することができます。モニターがスタンバイ状態のときは、ゲーミングホットキーは動作しません。



Menu	説明																							
ゲーミングモード	<p>ゲーミングホットキーの [GAME MODE] ボタンを押すと、ゲーミングモード選択メニューが表示されます。セレクトボタン (<) でゲーム環境に適したゲーミングモードを選択します。再度 [[GAME MODE] ボタンを押すと、選択したゲーミングモードの設定が保存されてメニューが終了します。</p> <div style="text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; background-color: #333; color: white;"> <tr> <td style="width: 33%;">Black Stabilizer</td> <td style="width: 33%; color: red;">ゲーミングモード</td> <td style="width: 33%;">DAS モード</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">ゲームプリセットで画面最適化を選択することができます。</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> ゲーミングカラー1 </td> <td style="text-align: center;"> ゲーミングカラー2 </td> <td style="text-align: center;"> ゲーミングカラー3 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> FPS 1 </td> <td style="text-align: center;"> FPS 2 </td> <td style="text-align: center;"> RTS </td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;"> オフ </td> </tr> </table> </div> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%;">ゲーミングカラー 1、2、3</td> <td>明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ値、色温度、ブラックスタビライザー、応答速度、DAS モード、Motion240 を設定して、プレイするゲームに適したオリジナルのゲーミングモードを設定できます。ゲーミングカラーは 3 種類設定 / 保存が可能です。</td> </tr> <tr> <td>FPS 1</td> <td>FPS ゲームに最適化されたモードです。</td> </tr> <tr> <td>FPS 2</td> <td>ブラックスタビライザーの値が FPS1 より強く設定されていて、画面が暗い FPS ゲームに最適化されたモードです。</td> </tr> <tr> <td>RTS</td> <td>RTS ゲームに最適化されたモードです。</td> </tr> </table>	Black Stabilizer	ゲーミングモード	DAS モード	ゲームプリセットで画面最適化を選択することができます。			 ゲーミングカラー1	 ゲーミングカラー2	 ゲーミングカラー3	 FPS 1	 FPS 2	 RTS	 オフ			ゲーミングカラー 1、2、3	明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ値、色温度、ブラックスタビライザー、応答速度、DAS モード、Motion240 を設定して、プレイするゲームに適したオリジナルのゲーミングモードを設定できます。ゲーミングカラーは 3 種類設定 / 保存が可能です。	FPS 1	FPS ゲームに最適化されたモードです。	FPS 2	ブラックスタビライザーの値が FPS1 より強く設定されていて、画面が暗い FPS ゲームに最適化されたモードです。	RTS	RTS ゲームに最適化されたモードです。
Black Stabilizer	ゲーミングモード	DAS モード																						
ゲームプリセットで画面最適化を選択することができます。																								
 ゲーミングカラー1	 ゲーミングカラー2	 ゲーミングカラー3																						
 FPS 1	 FPS 2	 RTS																						
 オフ																								
ゲーミングカラー 1、2、3	明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ値、色温度、ブラックスタビライザー、応答速度、DAS モード、Motion240 を設定して、プレイするゲームに適したオリジナルのゲーミングモードを設定できます。ゲーミングカラーは 3 種類設定 / 保存が可能です。																							
FPS 1	FPS ゲームに最適化されたモードです。																							
FPS 2	ブラックスタビライザーの値が FPS1 より強く設定されていて、画面が暗い FPS ゲームに最適化されたモードです。																							
RTS	RTS ゲームに最適化されたモードです。																							

Menu	説明				
<p>DAS モード</p>	<p>ゲーミングホットキーの[DAS MODE] ボタンを押すと、DAS モードのオン/オフが設定できます。セレクトボタン(<>)で DAS モードのオン/オフを選択して、再度 [[DAS MODE] ボタンを押すと、設定が保存されてメニューが終了します。</p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-weight: bold; color: #ff00ff;"> Black Stabilizer ゲーミングモード DAS モード </div> <p>ゲーム操作に対し、より遅延なく、即時に画面上に表示をすることができます。</p> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>オン</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>オフ</p> </div> </div> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">オン</td> <td>画面の描画を高速にして、より遅延なく表示することができます。(DAS モードのオンとオフを切り替えるとき、一時的に画面がちらつきます)</td> </tr> <tr> <td>オフ</td> <td>DAS モードをオフにします。</td> </tr> </table>	オン	画面の描画を高速にして、より遅延なく表示することができます。(DAS モードのオンとオフを切り替えるとき、一時的に画面がちらつきます)	オフ	DAS モードをオフにします。
オン	画面の描画を高速にして、より遅延なく表示することができます。(DAS モードのオンとオフを切り替えるとき、一時的に画面がちらつきます)				
オフ	DAS モードをオフにします。				
<p>ブラック スタビライザー</p>	<p>ゲーミングホットキーの [BLACK ST.] ボタンを押すと、ブラックスタビライザーの強弱が設定できます。セレクトボタン (<>) で値を選択して、再度 [BLACK ST.] ボタンを押すと、設定が保存されてメニューが終了します。高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、減らずと明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。</p> <div style="background-color: #333; color: white; padding: 10px; text-align: center;"> <div style="display: flex; justify-content: space-between; font-weight: bold; color: #ff00ff;"> Black Stabilizer ゲーミングモード DAS モード </div> <p>映像の暗い部分を明るく表示して、視認性を高めます。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; gap: 20px;"> ◀ <div style="flex-grow: 1; border: 1px solid white; position: relative;"> <div style="background-color: white; width: 50%; height: 10px; position: absolute; top: -5px; left: -5px;"></div> </div> ▶ </div> <p style="text-align: right; margin-right: 20px;">50</p> </div>				

ユーザー設定

メニュー設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左(◀)に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後(▲/▼)に倒してカーソルを合わせます。
- 4 OSD ジョイスティックを押すか、右(▶)に倒すと各設定項目が表示されます。
- 5 OSD ジョイスティックを左(◀)に倒すと OSD メニューが終了します。



かんたん設定



機能



スクリーン



設定



自動設定



リセット

[OSD メニュー] の設定項目

Menu		説明
かんたん設定		画面の明るさやコントラスト、音量、入力端子の選択、画面サイズを調整します。
機能		ピクチャーモード、ゲーミングモード、DAS モード、Motion 240、および SUPER ENERGY SAVING を調整します。
スクリーン	画質	画面の SUPER RESOLUTION+、シャープネス、ブラックレベル、ブラックスタビライザー、応答速度を調整します。
	カラー	ガンマ、色温度、色を調整します。
	表示	画面の位置、幅、フェーズを調整します。 (D-SUB アナログ入力を使用するときのみ有効になります)
設定		言語、電源 LED、自動スタンバイ、OSD ロックを調整します。
自動設定		画面の位置、幅、フェーズを自動的に調整します。 (D-SUB アナログ入力を使用するときのみ有効になります)
リセット		デフォルト設定に戻します。
◀	終了	OSD メニューを終了します。

かんたん設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと [かんたん設定] のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。
- 6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。



[かんたん設定] の設定項目

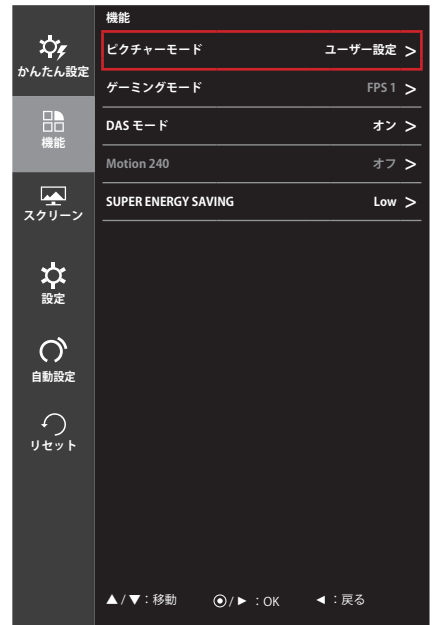
[Menu] > [かんたん設定]	説明	
明るさ	画面の明るさを調整します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> OSD ジョイスティックを前 (▼) に倒すとオートブライトネス (自動輝度調整) のオン/オフの設定ができます。 </div>	
コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
音量	音量を調節します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> [音量] メニューで、OSD ジョイスティックを前 (▼) に倒すと、ミュート/ミュート解除の選択ができます。 </div>	
入力	入力信号が接続されている入力端子を選択できます。	
画面サイズ	画面の縦横比を調整します。	
	ワイド	画面全体に映像を表示します。オリジナルの映像が 16:9 でない場合は、正確なアスペクト比では表示されません。
	オリジナル	入力映像信号のアスペクト比に応じて動画を表示します。
	1:1	映像信号の解像度そのまま表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> この機能は、[DAS モード] がオンになっている場合は使用できません。[1:1] を使用するには、[DAS モード] をオフにする必要があります。 </div>

ヒント

- 映像が FullHD(1920 x 1080) の場合は、[ワイド]、[オリジナル]、[1:1] に設定しても、表示は変わりません。
- インターレース信号の場合は、画面サイズを変更できません。




機能

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左(◀)に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後(▲/▼)に倒して [機能] のアイコンを選択し、右(▶)に倒すと [機能] のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左(◀)に倒します。
- 4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後(▲/▼)に倒して選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右(▶)に倒すと設定項目を表示します。
- 6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。



[機能] の設定項目

[Menu] > [機能]	説明	
ピクチャーモード (メインメニューで OSD ジョイスティックを▲の方向に動かし、ピクチャーモードに直接移動します)	低減 1	ブルーライト低減モードです。ブルーライトを抑え目の負担を軽減します。新聞に近い色温度で表示します。
	低減 2	ブルーライト低減モードです。ブルーライトを抑え目の負担を軽減します。書籍に近い色温度で表示します。
	フォト	写真の閲覧に適した画質で表示します。
	シネマ	動画の閲覧に適した画質で表示します。
	ユーザー設定	OSD メニューの [スクリーン](P.28 ~ 30) で設定した画質を表示します。
ゲーミングモード	ゲーミングカラー 1、2、3	明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ値、色温度、ブラックスタビライザー、応答速度、DAS モード、Motion240 を設定して、プレイするゲームに適したオリジナルのゲーミングモードを設定できます。ゲーミングカラーは 3 種類設定 / 保存ができます。
	FPS 1	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
	FPS 2	ブラックスタビライザーの値が FPS1 より強く設定しており、画面が暗い FPS ゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	 ヒント <ul style="list-style-type: none"> モニター前面にあるホットキーの [GAME MODE] ボタンで、各ゲームモードを手早く設定することができます。 	

[Menu] > [機能]		説明
DAS モード	オン	ゲーム操作に対し、より遅延なく、即時に画面上に表示をすることができます。DAS モードのオンとオフを切り替えるときに、一時的に画面がちらつきます。
	オフ	DAS モードをオフにします。
<p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • モニターの前面にあるゲーミングホットキーの [DAS MODE] ボタンで、素早く切り替えることができます。 		
Motion 240	オン	動きの速い映像のモーションブラー(ぶれ)を最小限に抑えます。この機能は、フレームレート(垂直周波数)が 100 Hz および 120 Hz の場合に機能します。この機能を有効にするためには、DisplayPort (DP) または DVI 入力で、1920 × 1080 (120 Hz) を選択します。
	オフ	Motion 240 をオフにします。
<p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • モーションブラー(ぶれ)を減らすには、バックライト制御を使用して明るさを減らします。 • Motion 240 と DAS モードを同時に使用することはできません。Motion 240 が有効になっている場合、DAS モードは自動的に無効になります。 		
SUPER ENERGY SAVING	High / Low	SUPER ENERGY SAVING はモニターの消費電力を抑える省エネ機能です。Low よりも High の方がより省エネ効率が高くなります。ただし、画面の色合いに若干影響が出ることがあります。
	オフ	SUPER ENERGY SAVING 機能を無効にします
<p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> • [低減 1]、[低減 2] または [シネマ] のピクチャーモードで SUPER ENERGY SAVING 機能を [High (高)] または [Low (低)] に設定すると、ピクチャーモードが [ユーザー設定] に変更されます。 		

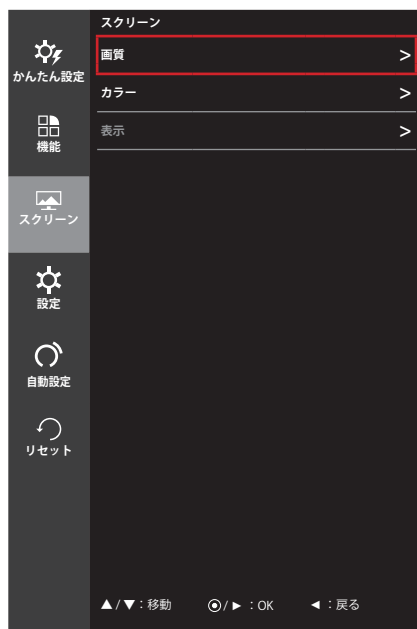
* FPS : First-Person Shooting (ファーストパーソン・シューティングゲーム)

* RTS : Real-Time Strategy (リアルタイム対戦)



* DAS : Dynamic Action Sync (ダイナミックアクションシンク)

画質

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左(◀)に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後(▲/▼)に倒して[スクリーン]のアイコンを選択し、右(▶)に倒すと[スクリーン]のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左(◀)に倒します。
- 4 OSD ジョイスティックを前後(▲/▼)に倒して[画質]を選択し、同様の操作で設定項目を選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右(▶)に倒すと設定項目を表示します。
- 6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。

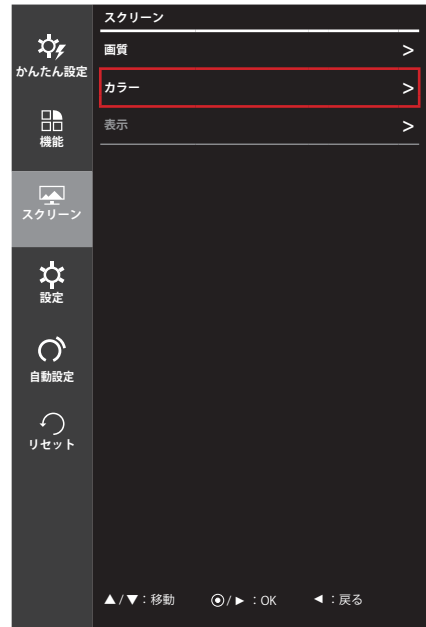


[画質] の設定項目

[Menu] > [スクリーン] > [画質]	説明								
SUPER RESOLUTION+	<p>超解像技術により、低解像度の画像を拡大して表示したときでも、ぼやけやエッジなどを最小限に抑え、クリアな画質で見ることができます。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> これは低解像度の画像の鮮明度を増幅する機能なので、通常時に使用すると画面がクッキリしすぎる場合があります。 								
シャープネス	画面の鮮明度を調整します。								
ブラックレベル	<p>オフセットレベルを設定します (HDMI のみ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> オフセット: モニターに表示できる最も暗い色です。これが映像信号の基準となります。 <table border="1"> <tr> <td>High</td> <td>画像が明るくなります。</td> </tr> <tr> <td>Low</td> <td>画像が暗くなります。</td> </tr> </table>	High	画像が明るくなります。	Low	画像が暗くなります。				
High	画像が明るくなります。								
Low	画像が暗くなります。								
ブラックスタビライザー	<p>ブラックスタビライザーは、見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。高い数値に設定すると、暗い部分が見えやすくなり、減らすと明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。</p> <p> ヒント</p> <ul style="list-style-type: none"> モニターの前面にあるゲーミングホットキーの「BLACK ST.」ボタンで、簡単に調節することができます。 								
応答速度	<p>画面の速度に基づいて、表示される映像の応答速度を設定します。標準的な環境の場合、[Middle] を使用することをお勧めします。動きの速い映像の場合、[High] を使用することをお勧めします。応答速度を [High] に設定すると、残像が発生する場合があります。</p> <table border="1"> <tr> <td>High</td> <td>画面の応答速度が高速になります。</td> </tr> <tr> <td>Middle</td> <td>画面の応答速度が中程度高速になります。</td> </tr> <tr> <td>Low</td> <td>画面の応答速度が少し高速になります。</td> </tr> <tr> <td>オフ</td> <td>パネル本来の応答速度になります。</td> </tr> </table>	High	画面の応答速度が高速になります。	Middle	画面の応答速度が中程度高速になります。	Low	画面の応答速度が少し高速になります。	オフ	パネル本来の応答速度になります。
High	画面の応答速度が高速になります。								
Middle	画面の応答速度が中程度高速になります。								
Low	画面の応答速度が少し高速になります。								
オフ	パネル本来の応答速度になります。								

カラー

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して [スクリーン] のアイコンを選択し、右 (▶) に倒すと [スクリーン] のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 4 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して [カラー] を選択し、同様の操作で設定項目を選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。
- 6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。



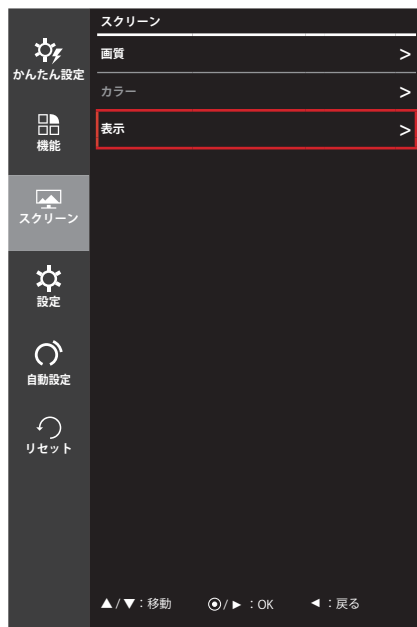
[カラー] の設定項目

[Menu] > [スクリーン] > [カラー]	説明	
ガンマ	ガンマのユーザー設定：ガンマ0, ガンマ1, ガンマ2。高いガンマ値で表示された画像が白っぽくなります。低いガンマ値で表示された画像が黒っぽくなります。	
色温度	Warm (暖色 5000K)：画面の色温度を暖色系（より赤い）に設定します。	
	Medium (中間 6,500K)：画面の色温度を中間に設定します。	
	Cool (寒色 9,300K)：画面の色温度を寒色系（より青い）に設定します。	
	ユーザー 工場出荷時のデフォルトの画質の色を選択します。	
赤	赤、緑、および青のレベルを手動で設定します。	
緑		
青		
6色相環	6色 (赤_色合い, 赤_彩度, 緑_色合い, 緑_彩度, 青_色合い, 青_彩度, シアン_色合い, シアン_彩度, マゼンタ_色合い, マゼンタ_彩度, イエロー_色合い, イエロー_彩度) の色と彩度を調整し、設定を保存することにより、より細かくお好みの色合いを設定できます。	
	色合い	画面の色調を調整します。
	彩度	画面の色の彩度を調整します。値を低くするほど、彩度が下がり、明るくなります。値を高くするほど、彩度が上がり、暗くなります。
リセット	色設定をデフォルトの設定に戻します。	

表示

アナログ接続時にのみ設定できます。

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して [スクリーン] のアイコンを選択し、右 (▶) に倒すと [スクリーン] のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 4 OSD ジョイスティックを前後 (▲/▼) に倒して [表示] を選択し、同様の操作で設定項目を選択します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。
- 6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。



[表示] の設定項目

[Menu] > [スクリーン] > [表示]	説明
水平	画面の水平位置を調整します。
垂直	画面の垂直位置を調整します。
周波数	画面に発生した縦棒または縞模様 (モアレ) を調整します。画像の水平方向のサイズも変更されます。
フェーズ	画面のフォーカスを調節できます。この項目は水平方向のノイズを除去し、文字の輪郭をクリアまたはシャープにすることができます。

✔ ヒント


- この機能は D-SUB アナログ入力を使用するときのみ有効になります (アナログ信号を使用するときには、グラフィックカード、ケーブル、解像度の設定などによりビデオの位置およびフォーカスが合わないことがあるため、[表示] メニューで調整が必要になります。デジタル信号を使用するときにはこの機能は必要ありません)。
- 自動設定 (🔄) 機能を使用して、最適な位置やフォーカスを自動的にセットすることもできます。

設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して [設定] のアイコンを選択し、右 (▶) に倒すと [設定] のメニューにカーソルが移動します。
- 4 設定したい項目を OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して選択します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 5 OSD ジョイスティックを押すか、右 (▶) に倒すと設定項目を表示します。
- 6 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。

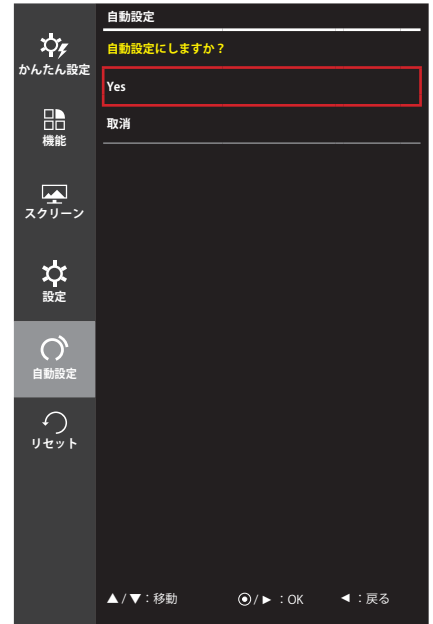


[設定] の設定項目

[メニュー]> [設定]	説明
言語	OSD 画面で表示する言語を選択します。
電源 LED	モニターの前面上にある電源 LED のオン/オフを切り替えます。
	オン 電源 LED が自動的にオンになります。
	オフ 電源 LED がオフになります。
自動スタンバイ	画面に長時間何の動きもない場合に自動的にモニターをオフにします。自動オフ機能のタイマーを設定できます (オフ、4 時間後、6 時間後、8 時間後)。
OSD ロック	オンにすると OSD の設定可能な項目を制限します。
	オン 設定項目に制限をかけます。オンにしても設定が可能な項目は以下の通りです。 ・ [かんたん設定] > [明るさ] [コントラスト] [音量] [入力] ・ [設定] > [OSD ロック] 上記以外の項目を設定するときは、[OSD ロック] をオフにしてください。
	オフ 使用環境で設定可能な項目すべてを設定できます。
 ヒント <ul style="list-style-type: none"> ・ [明るさ]、[コントラスト]、[音量]、[入力]、[設定] メニューの [OSD ロック]、および [終了] ボタンを除くすべての機能が無効です。 	

自動設定

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左(◀)に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後(▲/▼)に倒して [自動設定] のアイコンを選択し、右(▶)に倒すと [自動設定] のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左(◀)に倒します。
- 4 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。

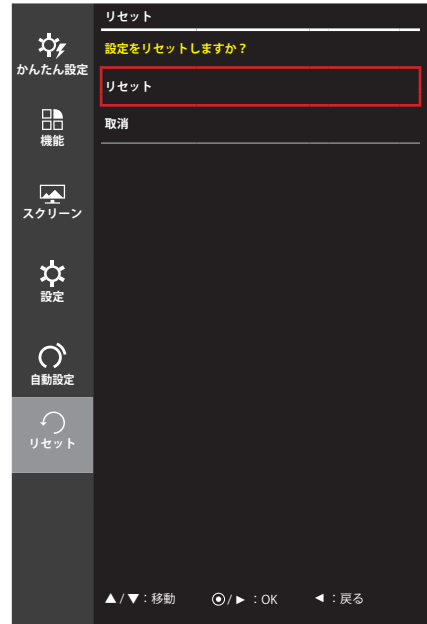


[自動設定] の設定項目

[メニュー]>[自動設定]	説明
自動設定にしますか?	
Yes	画面の位置、幅、フェーズを自動的に調整します。 (D-SUB アナログ入力を使用するときのみ有効になります)
取消	自動設定をキャンセルします。

リセット

- 1 OSD ジョイスティックを押して、メインメニューを表示します。
- 2 OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒して OSD メニューを表示します。
- 3 OSD ジョイスティックを前後 (▲ / ▼) に倒して [リセット] のアイコンを選択し、右 (▶) に倒すと [リセット] のメニューにカーソルが移動します。メニューアイコンに戻るときは OSD ジョイスティックを左 (◀) に倒します。
- 4 OSD ジョイスティックで設定を行い、目的の設定に変更ができれば OSD ジョイスティックを押すと決定されます。



[リセット] の設定項目

[Menu] > [リセット]	説明
設定をリセットしますか？	
リセット	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期状態になりますので、ご注意ください。
取消	リセットを行わず、メニューアイコンの選択に戻ります。

困ったとき

画面に何も表示されません。	
モニターの電源ケーブルは差し込まれていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードがコンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。 照明器具やその他の電子機器を接続して、AC電源プラグの電源が使用できることを確認してください。
電源LEDは点灯していますか？	<ul style="list-style-type: none"> 電源コードの接続を確認し、OSDジョイスティックを押して、モニターの電源が入っているかを確認してください。 接続されている機器とモニターの入力設定が一致しているか確認してください。[メニュー]-[入力]
電源がオンになっていて、電源LEDが白く点灯していますか？	<ul style="list-style-type: none"> モニターが省電力モードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PCの省電力モードを解除させてください。 PCの電源が入っているか確認してください。
電源LEDは点滅していますか？	<ul style="list-style-type: none"> PC(ビデオカード)から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合、または出力されるOSの解像度がモニターより大きなサイズに設定されている場合があります。 本説明書の「製品仕様」を参照して、OS上で適切な周波数または、解像度に設定してください。
No Signal というメッセージは表示されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 信号ケーブルが正しく接続されていないときに表示されます。PCまたはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 入力端子に接続されている映像と違うソースになっている可能性があります。OSDジョイスティックを押してから右に倒して[入力]を選択して映像が出力している端子になっているかを確認してください。
「CHECK SIGNAL CONNECTION (信号接続を確認してください)」というメッセージは表示されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> 接続機器からの映像信号がモニターに伝送されていないときに表示されます。信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
OSD ロックメッセージが表示されている。	
[Menu (メニュー)] ボタンを押したときに利用できない機能がありますか？	<ul style="list-style-type: none"> OSDがロックされています。[Menu]>[設定]の順に選択し、[OSDロック]を[ロック解除]に設定します。
画面に残像が生じます。	
モニターの電源を切っても残像が見えますか？	<ul style="list-style-type: none"> 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 モニターの映像が長時間使用する場合は、スクリーンセーバーを使用して画面を保護するようにしてください。長時間表示したことにより発生した画面の損傷は保証の対象外となります。
画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される。	
適切な解像度を選択しましたか？	<ul style="list-style-type: none"> 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz (インターレース) の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080Pまたは推奨解像度に変更してください。

ヒント

- 垂直周波数**：映像を表示するためには、蛍光灯のように毎秒何十回も画面をリフレッシュしなければなりません。1秒間で画面がリフレッシュされる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュレート」と呼びます。単位はHzです。
- 水平周波数**：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。



ヒント

- [コントロールパネル]>[画面]>[設定]の順に選択して、ビデオカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲にあるかどうかを確認し、推奨される(最適な解像度)に設定します。
- ビデオカードを推奨される(最適な解像度)に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示領域が切り捨てられたり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのコンピュータまたはオペレーティングシステムによって異なる場合があります。また、ビデオカードによっては、一部の解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、コンピュータまたはビデオカードの製造業者にお問い合わせください。
- 一部のビデオカードは、解像度 1920 x 1080 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、コンピュータまたはビデオカードのメーカーにお問い合わせください。

表示色が適切に表示されません。

表示色が減色(16色)して表示されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> • OS上の表示色が24ビット(True Color)に設定されているかを確認してください。Windowsでは、[コントロールパネル]>[画面]>[設定]>[画面の色]を選択します。
表示色が不安定に表示されるか、モノクロで表示されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> • 信号ケーブルが正しく端子に接続されているか確認してください。または、PCのビデオカードを取り付け直してください。 ※ビデオカードの確認をする際は必ずPCの電源を切って行ってください。
画面に点が表示されていますか？	<ul style="list-style-type: none"> • モニターの映像が使用すると、画面にぼんやりした点(赤、緑、青、白、または黒)が表示されることがあります。これは、正常な動作であり、製品の不良や故障ではありません。

ヘッドフォンポートから音が聞こえない。

D-Sub または DVI で接続していませんか？	<ul style="list-style-type: none"> • D-Sub および DVI はオーディオをサポートしません。 • 使用しているケーブルの種類によっては、オーディオはサポートされないことがあります。
DisplayPort 入力または HDMI 入力の使用時に、イメージが音なしで表示されますか？	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドフォンポートに正常に接続されていることを確認します。 • OSD ジョイスティックを左右に倒して音量を確認してください。 • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で [コントロールパネル] > [ハードウェアとサウンド] > [サウンド] の順に選択して、モニターを既定のデバイスとして設定します。

仕様

LCD 画面	タイプ	61 cm TFT (Thin Film Transistor) LCD (Liquid Crystal Display) 画面 画面の対角線の長さ：61 cm	
	ピクセルピッチ	0.27675 mm x 0.27675 mm	
解像度	最大解像度	アナログ, HDMI	1920 x 1080 @ 60 Hz
		DVI-D, DisplayPort	1920 x 1080 @ 144 Hz
	推奨解像度	1920 x 1080 @ 60 Hz	
映像信号	水平周波数	アナログ, HDMI	30 kHz ~ 135 kHz
		DVI-D, DisplayPort	30 kHz ~ 160 kHz
	垂直周波数	アナログ, HDMI	56 Hz ~ 120 Hz
		DVI-D, DisplayPort	56 Hz ~ 144 Hz
同期	セパレート同期		
入出力端子	USB 1, 2, USB UP, DP(DisplayPort) IN, D-SUB IN, DVI-D IN, HDMI IN×2, ヘッドホン OUT		
電源	電圧	AC 100 V ~ 50 / 60 Hz 0.8 A	
	消費電力 (通常)	通常 23W 以下 (最大 45W)* 節電モード ≤ 1.2 W オフモード ≤ 0.3 W	
スタンドの角度の調整	前/後：-5° ~ 20° (ヘッド)		
環境条件	動作条件	温度：10°C ~ 35°C、湿度：10 % ~ 80 %	
	保管条件	温度：-20°C ~ 60°C、湿度：5 % ~ 90 %	
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	スタンド装着時	567.6 mm x 401.2 mm x 248 mm	
	スタンドなし	567.6 mm x 353.9 mm x 57.3 mm	
重量 (パッケージを除く)	スタンド装着時	5.43 kg	
	スタンドなし	3.83 kg	

* 通常は工場出荷時の設定の値、最大は輝度の設定が 100 で、USB3.0 機器の接続など、電力を最大で使用した場合の値です。

仕様は事前の通知なしに変更されることがあります。

お買い上げ時の初期モード（プリセットモード DisplayPort/ D-SUB/DVI-D/HDMI PC）

プリセットモード,PC	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	極性 (H/V)	備考
720 x 400	31.468	70.08	-/+	
640 x 480	31.469	59.94	-/-	
640 x 480	37.5	75	-/-	
800 x 600	37.879	60.317	+/+	
800 x 600	46.875	75	+/+	
800 x 600	76.302	119.972	+/-	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1024 x 768	60.123	75.029	+/+	
1024 x 768	97.551	119.989	+/-	
1280 x 1024	63.981	60.02	+/+	
1280 x 1024	79.976	75.025	+/+	
1280 x 1024 *	130.035	119.958	+/-	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
1920 x 1080 **	137.26	119.98	+/-	
1920 x 1080 **	158.11	144	+/-	

* 1280 x 1024 @ 120 Hz : HDMI 非対応

** 1920 x 1080 @ 120 Hz/144 Hz : HDMI/D-Sub 非対応

HDMI タイミング

プリセットモード,PC	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	備考
480P	31.50	60	
720P	45.00	60	
1080P	67.50	60	

電源 LED

モード	LEDの色
オンモード	白
節電	白で点滅します
オフモード	オフ

正しくご使用いただくために

モニターを使用するときの正しい姿勢

画面がわずかに目より低くなるように角度を調整します。

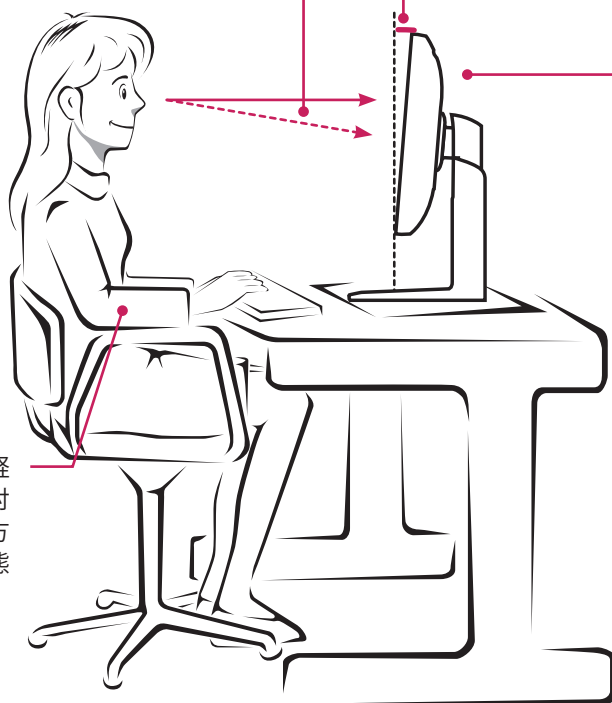
- 長時間の使用による疲労を軽減するため、1時間ごとに約10分間の休憩を取るようになさってください。
- タッチモニターのスタンドを使用して、製品を最適な位置に設定します。
画面が最も見やすくなるよう、スタンドの角度を -5° ～ 20° の範囲で調節します。

画面を見る視線が少し下
を向くようにします。

角度を -5° ～ 20° の範
囲で調整します。

画面に蛍光灯などから
の光が反射しない角度
に調整します。

両手をキーボードに軽
く載せます。腕は、肘
のところで曲げて前方
に水平に伸ばした状態
を維持します。





この機器は家庭用電気製品の EMC 要件（クラス B）を満たしており、家庭使用向けです。この機器はすべての地域で使用できます。取扱説明書（CD）をよく読み、すぐに参照できるようにしてください。製品に貼付けられたラベルには、技術サポート情報が記載されています。

モデル

シリアル

ENERGY STAR is a set of power-saving guidelines issued by the U.S. Environmental Protection Agency (EPA).



As an ENERGY STAR Partner LGE U. S. A., Inc. has determined that this product meets the ENERGY STAR guidelines for energy efficiency.

Refer to ENERGY STAR.gov for more information on the ENERGY STAR program.